

日立ソリューションズ・セキュリティ 西條 洋社長



19年は日立ソリューションズグループとしての成長に向けたグループ連携を強化するとともに、強みでもある製造現場、AI、セキュリティのソリューションを育てていく。

15年に日立ソリューションズグループ2社が合併し、スタートして以降は日立グループ内での存在感

を高める施策を打ってきた。月面探査チームプロジェクトへの参加や、A

AIなど得意技術を生かし成長へ

Iコンテスト、セキュリティコンテストへ参加し上位に食い込んできた。昨年は日立ソリューションズグループのセキュリティコンテストでも上位に入った。全社運動では、オリジナルのゆるキャラ「くりえいとん」がゆるキャラグランプリ2

合いも多い。昨年4月には新事業の創出を目指し「新事業開発部」を新設。各事業部門と連携し業務にAIをプラスしていく新コンセプト「AIプラス」を立ち上げ、POC(実証実験)や共同研究を始めている。事業化に向け動きだしている

ていく。昨年、日立ソリューションズ・サービスを合併し加わった決済関連事業も好調だ。タクシー決済サービスが伸びており、今後は当社のものづくりの技術と決済技術を組み合わせるサービスの開発につなげたい。

018企業部門で8位に入選するなど、様々な活動が成果になっている。ビジネス面でも得意技

術を生かした独自ソリューションが順調に拡大。キーワードに掲げている「現場」の課題を解決する「製造現場向けIoTソリューション」は引き

案件も出ており、発売につなげたい。セキュリティでは日立ソリューションズグループ連携や、他社連携を強化。新たに手軽にセキュリティ診断ができるサービスの開始。セキュリティの技術力を生かしたサービスは今後も強化し

19年は次期中期経営計画がスタートする。日立ソリューションズグループとしてソリューション軸での連携をするとともに外販比率を高めたい。今は大きな転換期にも来ている。がむしろに走るだけでなく、いま一歩立ち止まり自社を見つめ直しながら次の成長に向けた施策を打っていきたい。

※本記事は、発行元の許可を得て掲載しております。